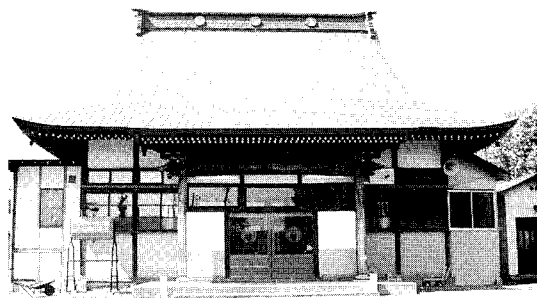


くろなん

20



吉野了乗 住職



栗山町 唯 専 寺



降 誕 会 呈 茶

今年度 各ブロック仏婦大会のようす

	北 ブ ロ ッ ク	中 ブ ロ ッ ク	南 ブ ロ ッ ク
開催期日・会場	6月4日 常光寺(美唄市)	6月14日 報恩寺(栗沢町)	6月25日 妙華寺(南幌町)
参加人数	9カ寺 仏婦 153名・坊守6名 出勤法中5名 (参加人数の調整割り当て有)	11カ寺 仏婦 308名・坊守10名 出勤法中12名 (参加人数の調整割り当て有)	7カ寺 仏婦 249名・坊守7名 出勤法中7名 (参加人数は無制限)
大会予算・収入	参加費 1,000円・組助成金 参加寺院負担金 6,000円	参加費 1,200円・組助成金 参加寺院負担金なし・広告料	参加費 1,000円・組助成金 参加寺院負担金 5,000円
日 程	9:30 受 付 10:30 開会式 11:10 講 演 12:00 昼 食 13:00 講 義 14:00 閉会式 14:20 レクリエーション 15:30 解 散	9:30 受 付 10:00 開会式 10:40 講 演 12:00 昼 食 13:00 追弔会 13:40 研 修 14:45 閉会式 15:00 解 散	9:00 受 付 10:00 開会式・追悼会 11:00 講 演 12:00 昼 食 12:45 仏教讃歌紹介 13:00 講 演 14:00 体験発表 14:15 余 興 15:30 閉会式・解散
開会式次第 (追弔会)	①開扉 ②仏教婦人会旗入場 各寺代表 ③献華・献灯・献香 各寺代表 ④らいはいのうた 各寺代表焼香 ⑤仏教婦人会綱領 ⑥大会長挨拶 会所仏婦会長 組長 ⑦祝辞 組長 ⑧祝電披露 ⑨真宗宗歌	①ちかいのうた ②大会長挨拶 会所仏婦会長 組長 ③挨拶 会所住職 ④歓迎の言葉 会所住職 ⑤祝電披露 ⑥仏教婦人会綱領 ⑦真宗宗歌 — 追弔会 — ①献華・献灯・献香 各寺代表 ②らいはいのうた 住職出勤 各寺代表焼香	①仏教婦人会旗入場 各寺代表 ②らいはいのうた 住職出勤 (追悼会を兼ねる) 会員物故者遺族焼香 ③み仏にいだかれて ④仏教婦人会綱領 ⑤大会長挨拶 会所仏婦会長 組長 ⑥祝辞 組長 ⑦歓迎の言葉 会所住職 ⑧祝電披露 ⑨真宗宗歌
講 演	専証寺住職 打本厚史師 「蓮如上人に学ぶ」	弘誓寺住職 宮崎憲之師 「いま、仏教婦人の為すべき ことは」	円覚寺住職 轡田光章師 「共に仏法に遇う」
午後の研修	講義「白骨の御文章」の読み方 広大寺住職 佐々木恵真師 全員で読み方の練習をする	仏事作法について質疑応答 各寺住職が前に座って、御 門徒の質問に答える。	会所婦人会による仏教讃歌紹介 「一人じゃなかもん」 体験発表 教覚寺仏婦代表
余 興	各寺代表(坊守さんも出演)	なし	各寺代表(1カ寺2組以内)
閉会式次第	①浄土真宗の生活信条 ②次回会場紹介 ③恩徳讃	①ダーナ(タオル)贈呈 ②次年度案内 ③恩徳讃	①お礼の言葉 会所仏婦会長 ②次年度案内 ③恩徳讃

各ブロックの特色

北 ブ ロ ッ ク	中 ブ ロ ッ ク	南 ブ ロ ッ ク
<ul style="list-style-type: none"> ・余興に坊守さんも出演。今年はフラダンスなど。 ・今回から仕出し弁当を使う。今年は弁当の包み紙と顔つきゆで卵を会所婦人会で作成。 ・会員物故者追弔会はしていない。 ・開会式に各寺婦人会旗入場。 ・支出内容については、基本的に会所寺院に一任。 ・全員で、御文章を拝読する。  	<ul style="list-style-type: none"> ・ダーナ募金の他にタオルを集めて、会所寺院近隣の福祉施設に寄付。 ・広告料収入がある。(今回は8社) ・予算にかなり余裕がある。 ・質問コーナーを各寺住職が担当。 ・午後から追弔会をつとめる。各寺住職が、色衣五条で内陣出勤。  	<ul style="list-style-type: none"> ・各寺仏婦会旗入場、外陣に立てる。 ・開会式には、各寺住職が色衣五条で内陣出勤。 ・追悼会で物故者の遺族全員が焼香。人数分の供物を用意して、わたす。 ・前回当番寺より代表が、体験発表。 ・仏教讃歌を紹介し、全員で歌う。 ・余興出演者に記念品を用意。 ・予算は、厳しい。  

法 要 記 念 品

永代経お扱い

念珠掛け・壺(ガラス・陶器)・
 果物皿・経卓・湯呑み茶碗・
 塗り碗・菓子折・沈香・コップ・

仏事函・小鉢・灰皿・供物・
 腕輪念珠・式章入れ・打敷・
 銘々皿・式章・念珠・お盆・

チ・華葩・仏事のイロハ・聖典・
 聖典念珠入れ・ボールペン・ハンカ
 チ・花瓶・特注茶碗・お菓子・御文章箱・
 草履・菓子器・風呂敷・

持ち運び用ビール入れ・雨傘・
 紳士用バッグ・モップ・花台・
 襦袢・装束カバン・念珠・

法衣袋・中啓・中啓入れ・
 白帯・白衣生地・シエーパー・
 白帯・装束カバン・念珠・

ローソク・修多羅入れ・お香・
 輪袈裟・道中袴・香盆・商品券・

良かったもの

記念品
アンケートの結果報告
 (返信20通)

ご協力
 ありがとうございます
 ございました



(門 徒 用)

(法 中 用)

記念品の単価

①記念品	法中用	5,000円～ 21,000円
	門徒用	500円～ 3,000円
②お年始・お盆		100円～ 350円
③永代経お扱い		1,000円～ 3,000円

お年始・お盆
 本願寺新報・チャッカマン・
 テレホン法話集・念珠掛け・
 カレンダー・お香・お線香・
 御堂さん・ローソク・
 小冊子

報恩講

① いわれ

浄土真宗の開祖親鸞聖人は、一二六二年十一月二十八日（旧暦）に九〇歳のご生涯を閉じられました。報恩講は聖人のご法事であり真宗寺院にとつては一年で最も大切な行事であります。その意味は、聖人のお徳に感謝し、仏の教えを聞かせていただくところにあります。

また報恩講は自らを振り返る絶好の機会となります。不安と悩みの多き人生の中にある私ですが、その私に人生を力強く生き抜く道を示して下さいのが阿弥陀如来のみ教えです。その生き方を示して下さいた親鸞聖人を偲びつつ私のいのちの依り所を語り合ひましょう。是非家庭でもお勤めしたいものです。

② おにしめの味わい方

報恩講のおにしめには、ひとつの形があります。シイタケ・ニンジン・ゴボウ・イモ、そして三角形のアブラアゲがお皿に盛りつけてあります。

これは真宗門徒として尊い意味があります。親鸞聖人が関東をご教化されていたお姿をあらわしています。シイタケは傘、ゴボウは杖、アブラアゲは袈裟、そしてイモは石。聖人が寒い夜、路傍の石を枕に寝られたという有名なお話の、その石です。

おときを（お食事）をよばれるとき、このような親鸞聖人のご苦勞を偲ばせていただきましょう。

Q & A

③ 法要の速夜・初夜とは

何ですか

古来より仏さまを礼拝する時間を昼夜六回に分けました。現在の時刻で晨朝八時・日中十二時・日没十六時・初夜二十時・中夜二十四時・後夜四時です。法要ではこれをうけて大まかに、朝のお勤めをお晨朝（おあさじともいう）、午前中のお勤めをお日中、夜のお勤めをお初夜といい、特に報恩講最終日のお日中は満日中とも満座ともいいます。

また速夜とは元来葬儀の前夜のことです、再びその身を見ることができなくなる大切な夜として「大夜」と書きましたが、葬儀当日に速夜ということより「速夜」と書かれるようになりました。さらに、命日の前夜も速夜として報恩講では大切にお勤めします。

報恩講は一年で最も大切な行事です。

みなさんでお参りしましょう。

「私、お嫁にきました」



大安寺 川原真澄さん

6月23日、北村 大安寺の若さん、川原真澄氏がご結婚されました。

お嫁に来られたのは、栗沢町茂世丑出身の「真澄さん」21才。

謎のベールにつつまれていたお二人の出会い、昨年5月頃、岩見沢市の某スナックだったそうです。真澄さんは、素性のわからない若さんのことを「なんか怪しいひとだなあ」と。

しかしながら、その場でデートの約束を取り付ける若さんの手のはやさ！いや、口のうまさ！！いや、ヘネシーのうまさ（失礼）。

情熱の風が、2カ月後のプロポーズに結びついたのです。

若さん 「結婚しようか」

真澄さん 「うん」

これ以後は、皆様のご想像におまかせするとして、披露宴の2次会では、「わからないことばかりなので、よろしくお願いします」とセッセと明るくお給仕されていました。お酒がご縁の酒豪カップルに乾杯させていただきますよ。

PS 後日、某北村のチャコちゃんに電話取材したところ、「これから、かわいがってやるぞー」と張り切っておられました。



余興 空南会フラワーダンシングチーム

北海道教区社推協 喜びの浄財金庫のお願い

浄土真宗のみ教えに出会い、人生の節目となる、誕生・往生・初参・成人・結婚・慶讃法要その他の仏事を機縁として、仏恩報謝の思いから社会福祉活動推進のため、寺院・個人・団体等が自発的に自由に浄財を寄付していただく金庫です。

この浄財の用途は、ビハーラ活動への助成金、災害救援金、社会福祉施設への寄付等です。

「御同朋の社会をめざして」の目標のもと、この金庫の主旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

空知南組社推協評議委員 松山 宗生
空知南組ビハーラ部部长 吉野 顕隆

【離郷門信徒報恩講のご案内】

空南会主催により、離郷門信徒（札幌地区）報恩講を今年11月24日、札幌別院にてお勤めいたします。

詳細につきましては、後日ご案内申し上げます。

空南会



寺院紹介 真実山 唯専寺

【原景】

福井市宝永 唯専寺。現住職は21世。

【寺号公称】

明治34年、本願寺派説教所を開設。39年、大谷光瑞猊下御親教。42年、福井唯専寺住職吉野了清師駐在布教使を拜命し赴任。43年11月20日、寺号公称。了清師が開基住職となる。

大正2年、現在地に本堂・庫裡・客殿が完成。

【昭和】

昭和二年二月六日、開基住職了清師逝去。翌年了顕師2世住職となる。

【平成】

14年に住職応召され、15年に解除で帰寺するも19年に再度召集。激戦地に赴かんとする時、原爆の投下により終戦。

住職の留守中、坊守と総代の今井庄蔵氏が得度、門信徒共々に困窮を乗り越える。

戦後、住職は無事帰寺。まず空の鐘楼堂に高岡より大鐘が献納される。その後、本堂改築、納骨堂建設、七百回大遠忌、御誕生八百年、立教開宗七五〇年と矢継ぎ早の大事業。御門徒の懇念により今日の法城がある。

60年6月28日、前門様御親修により開教八十五年慶讃法要厳修。

平成1年12月1日、了顕師還帰。5年、新納骨堂「紫雲閣」落成。

【教化活動】

昭和五年、門信徒会を組織。住職・寺族・門徒総合協力体制により寺院の運営、組織教化が行なわれている。仏教婦人会、仏教壮年会が組織の中心。

日曜学校は大正4年に開校以来、少人数ながら継続、先生は大正生まれの前坊守がつとめる。

ボイススクウト活動はぜひ続けていきたい。自然への感謝、生命の共存共栄を原点とする、豊かで大らかな教育は、仏と共に生きる優しい人間の育成である。

広報部より

組報20号をお届けいたします。今回、仏婦大会と記念品の特集を組んでみましたが、情報を消化しきれず内容紹介が精一杯でした。

「そのままコピーができるページ」第2弾「報恩講について」、ご活用いただけば有り難いです。

下段の空白部分には、寺号、日程などを記入して下さい。

組報 「くうなん」 20号

一九九六年七月十五日発行

○ 編集 空知南組基推委 広報部

○ 発行 空知南組組長事務所

○ 印刷 岸山印刷(美唄市)

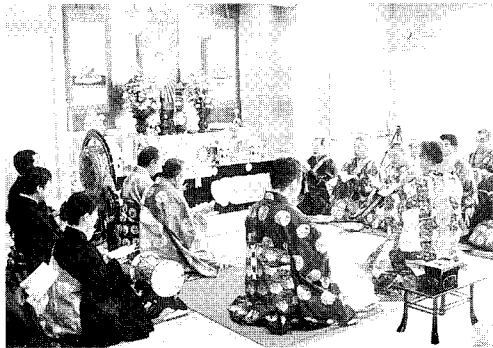
空南トピックス

◆4月1日 誓報寺住職 天野廣海氏が、仏教婦人会総連盟専門委員に就任されました。



◆4月27日 栗沢町 特別養護老人ホーム「いちい荘」にて、ビハーラ部・日校合同研修会開催

◆5月8日 西本寺前住職 藤堂西涯師「傘寿(80才)のお祝い」



◆5月25日 萬行寺江別分院落成入佛慶讃法要 厳修

◆6月21日 北海道教区門徒推進員連絡協議会の新会長に、唯専寺御門徒の川瀬清史氏が選出されました。



◆7月4・5日 空知南組僧侶部一泊研修会 於 奈井江温泉
講師 川添泰信師 (龍大助教授)
高橋宗瑛師 (組相談員)